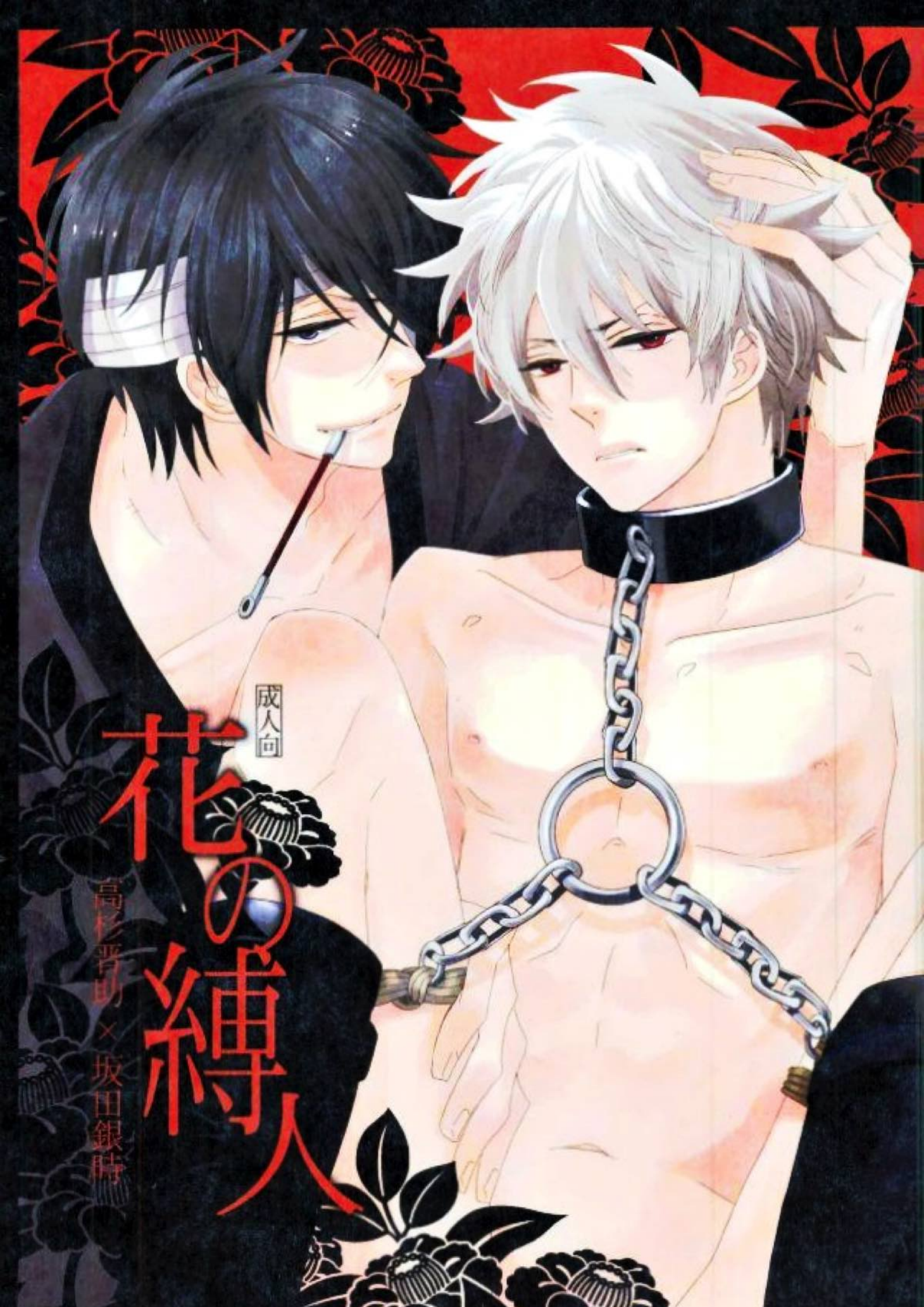
成人向
花の縛人
高杉晋助×坂田銀時

さぁどうだい お兄さん いい子いるよ
江戸一の 花魁といったら うちだよ
兄さんどうだい 一晩三分! 遊んできなよ
おい どの妓にする
俺は いつもの見世だな 浮気すりゃ 殺されらぁ
それじゃ かかあと 一緒だな
ほうほう お名前は 銀時さんかね

じゃあ
あんたの源氏名は
「銀」でいいね

おう

おうじゃなくて
「ハイ」ね

ウチは
この辺りじゃ
格式の高い
遊郭なんだから

それで
あんたの…
銀さんの
お客だけどね

女じゃなくて
男だから

……

ウチはもちろん
メインは
女だけどね

たまに
女のほかに男も
試してみたいって
変わり者がいてね

そういうお方を
頼みますよ

…万事屋

ウチの娘を…探して頂けないでしょうか

あの子は…私の薬代のために遊郭へ身売りしたんです

それでね銀さんあんたは「商品」になるわけだから

まず男に慣れてもらいますよ

なのにあの子…先日死んだって店から知らせが…

でもおかしいんです遺体も返してもらえなくて

見世で葬式をして焼いてしまったと

まずは「お道具」を拵えないとね

あの子は生きているに決まってます！

どうか探して下さい万事屋さん

お願いします…
じゃあ
お願いしますよ
お前さんたち

…ちょっと
ちょっと
オッサン

初心者に
それは
ないんじゃないの

なにを
言ってるんだね
あんたは金で
買われたんですよ

金が
いるんでしょ

母親が
病気
なんでしょ?

…私の母はね
銀時

父の借金のために身売りをして

そこで体を壊して死んでしまったのです

みうり…

そう

私は幼くて母を助けてあげられなかった

私は

母を苦界から戻してあげたかった

…せんせい

でもできなかった

せんせい…

泣くなよせんせい…

…しゃあねえか…

普段だったらンなめんどくせー依頼放っとくんだけどよ
がりがり
ありゃ断れねーよ
?
なにブツブツ言ってやがるおしゃべりが好きなのか?
ならまずはそのお口を塞いでやるか
グイ
てッ
ズポッ
ンッ
うぐっ…
う
ああイイ顔じゃねーか
もっと深く咥えてみな
んんっ
お上のお口は結構イケるみてーだぜ
じゃあ下のお口も調べてやらねーとな
どれ

!
ううッ…っ
グッ
グッ
…ん？
どうした
いや…
キツイのは
キツイん
だけどよォ
力の抜き方が…
慣れてるような…
なんだァ？
兄ちゃん
使用済なのか？
ぬちゃ
ぬちゃ
ぐに
ぐに
ま そりゃあ
それで
楽でいいけどな
じゃあ
遠慮は
いらねぇな
ホラ
兄ちゃん
いくぜ！
ズボッ
！
うう——ッ
グポッ
ビシャ
ドプ
ピュッ
おい
さっさと
代われよ
ん
うるせーな
どうせ
野郎だぜ
ちょっと待てよ
ん——ッ

うぐ
う
ビュルビュルッ…
グプ…
ドクッ
なんでここに…
うう
ズチュ
ぬるぬるっ
ズポッ
キツイか？兄ちゃん
ま あんまりキツかったら言いな
これで極楽見せてやっからよォ
…この粉の色
…おお…そろそろ出すぜ…っ
転生郷…!?
おい余計なことすンなよ
いーじゃねぇ分かりゃしねーよ

グリグリ
ゴリッ
ん
んふ
んんっ
…おっ…
こっちも そろそろだ
ズポ
ズポ
んっ
いくぜっ
ビュビュッ
ドプ
ん――ッ
ビュッ
ビシャッ
ドブ
ビュルビュルッ
ん……
ドロッ
はは
イイ顔
この調子じゃ お勤めは ヨユーだな

じゃあ次は俺も頼むぜ

俺は先に唾えてもらおうか

……

……

それじゃ銀さん最初のお客様ですよ

上得意の方だから失礼のないように

お客様失礼いたしますよ

カラ

よぉ

高杉…!?

なんでここに…

では私はこれで

…んで
お前がここに
いんだよ

初物の
男の花魁が
出るって
聞いてよォ

しかも
銀髪らしいと
きたもんだ

……

手前も
その歳で
花魁たァ
ご苦労なこったな

…冷やかしで
来たんなら
帰りやがれ

俺は
やることが
あんだよ

なんだ?

お客様に
なっちゃァ
いねーな

まァいいさ
ちゃんと
買うぜ?

昔の情人(イロ)を
金払って
抱くってのも
乙じゃねえか

ま

俺ァ手前に
振られたん
だっけか

クッ
クッ

――何言ってん

振ったのは
お前じゃねえか

ほら
突っ立ってねェで
床入りの支度しな

――っ

んッ

ん

じゅぽ

じゅぽ

ん…

そうだ
喉の奥で
吸え

ちゃんと
覚えてるじゃ
ねえか

んぷ

ん

それとも
俺の後に
他の男でも
咥えたか？

ぬるる

ちゅう

ちゅっ

ぐぽ

ぐぽ

んんぅ

ま どっちでも
いいさ

俺にゃあ
関係の
ないこった

ホラ

飲め
ドプ
ん――ッ
ゴクッ
ビュルルルッ
んふっ…
ゴクッ…
げほっ
てめっ…
おーおー
可愛く
なっちまって
どれ
パシ
触んなっ
――そう
こねェとなァ

ドン!

てめっ…

うるせえ 大人しくしろ

何しやがるッ

抵抗すんな てめェは 売女だ

はっ…

ああ

男か

クク

そう それでいい

大人しくしてな

——ホラ

似合いじゃねェか

まるで家畜だ

くそっ…
ほどけ
悪趣味野郎！

俺が家畜なら
てめーなんざ
虫ケラだ！

フン
俺ァ
躾け甲斐のある馬は
好きだがな

あんまり
生意気でも
可愛くねぇ

てっ

ドン

それに

忘れるなよ

お前は俺に
金で
買われた身だ

どう抱こうが
俺の勝手だ

―――

痛くねえか銀時

悪いな銀時

痛くねえか

ぐちゅっ…

――ッ

っ…

ぐちゅ

ぐちゅ

ずちゅっ

…ヘェ結構ゆるいな遊んでたか

――ああ

客に出すまでずっと張り形でも突っ込まれてたか？

――っ！

カッ

そうかい

なら最初はオモチャのほうが慣れてていいか

LOTION
ぬる
ッ
おい、よせ
高杉ッ！
遠慮すんなよ 毎日こいつを 食ってたんだろ？
好物なんだろうが
ほらよ
ズプ
ビクンッ
——ッ
あッ
びく
びくっ
てめっ…
——ああ 悪イな 間違えた
びくっ
びく

張り形は動かねェか
OFF
カチ
ON
あ
ヴヴ…
ビクッ
たかっ
高杉っ
ビク
ビクッ
あア？
やめろっ
ヴイイン
やめろ！
何か言ったか
ヴイイン
ヴヴヴヴ
びくっ
びくびくっ
ヴイイン
止めてくれっ…！
——さア？
聞こえねェなァ
MIN
カチ

あ
ヴィィィン
ヴィィィィィィィン
ヴィィィィィィィン
あ——ッ
がくっ
ビュビュビュッ
あ…
あ
がくっ
あ……
ふっ…
おいおい

これくらいでオチんなよ情けねェ

――時

銀時…

銀時…

高杉?

銀時 お前どこにも行くなよ

高杉…

うん 俺どこにも行かねーよ

戦が終わったら二人で住もうぜ

もう家は用意してある

はは

おめーせっかちだもんな

約束だ銀時

わかってるよ高杉

銀時

高杉

高杉…

なんだ…優しい手…

…起きたのか？銀時

すー

くしゃ

もっと撫でてくれよ高杉

夢の中でしか会えねーけど

俺の好きだった
高杉…

ぱち

がばっ

!?

よォ
銀時

!!

やっと
お目覚めかァ?

もう昼だぜ
ったく大した
花魁だ

高杉!

――そうだった

昨日…

かぁ

あのまま
オチちまったのか…

…高杉
なんでオメー
まだいんだよ

帰れ

あァ
言って
なかったか？

俺ァ商用で
こっちに
来てんだ

用が済むまで
宿はここだ

!?

なん…

折角だから
その間手前を
買い取ってやるぜ

居続けって
こった

ハァ!?

居続けって…
いつまで
いんだよ！

さァな

…冗談じゃねぇぞ

俺は依頼された
あの…
花魁の娘を探さなきゃならねーってのに

なんでこんな邪魔が…!

お俺っ風呂行ってくる!

あァ

おい!誰かいるか!

パン!

ダッ

?何してんだよ

こいつを湯屋へ連れて行ってくれ

ヘイ

一時間で戻らせろ

ヘイ

オイオイオイ!

なに余計なことしてくれてんだ!一人で行けんだよ!

まァそう言うな

歩きにくいんだろ

途中で転ばれて怪我でもされちゃあ買い損だ

え

え……

……こけねーっつの

お前銀さんをなんだと思ってんの

さァな

一時間で戻れよ

……

じゃ行きましょうか

銀さん

はいよ

オイ なんか落としたぞ

へ？

なんだこりゃ薬か？

あ な なんでもねえっす！

ぱっ

？

——ヘェ 仲々似合ってるぜ

せっかく花魁と客だしょォ色々試して楽しもうや

——ッ！
ぶるっ
ぶるぶる
——ッ！
ッ！
ビクンッ
ビクッ
ビクッ
ぎゅぎゅっ
ぎゅう
痒いか？
そりゃ
そうだろうなァ
そりゃあ芋茎だ
ついでに
山椒末でも
塗り込んで
やろうか
ッ……！
この宿ァ
用意が多くて
面白ェなァ
ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ
っ！
！
まァ
大人しくしてろ
擦ってほしいん
だろ？
今から
お望み通り
擦ってやる
待ってな

ごく…

ほら

ぴと

ズブッ

ビュッ

――ッ！

なんだ
イッちまった
のか？

そんなに
気持ち
良かったか

ビクッ

ビクッ

ビクッ

っ…

っ

んっ…

んんっ…

ゆさ

ゆさっ

ゆさ

ああ
まだ痒いか

慌てんな
ちゃんと
擦ってやるよ

ゴリ！
ズプッ
ズプ
ほらよ
ん――ッ
ぎゅっ
おっと
まだだぜ
キュン
キュン
!?
パキン
!?
てめェは
売女だろうが
お客様が
済んでからだ
んーッ！
んッ！
！
ガン！
ホラ！
!!
ビクンッ
ああ…
いいぜ
もっと
締めろ
っ！
！
！
んんっ！
ビクッ
ビクンッ

んッ
んッ
〜〜〜ッ！
…!?
…クソッ
出る…ッ
ビュッ
ビュル
ビュル
ビュル…
ビク
ビクッ
〜〜〜〜ッ！
ビクッ
…なんだお前
今の
はっ…
空イキか？
びくっ…
びくん…

出さずに中だけでイケんのか
可愛い女になったじゃねぇか
パチン
ならご褒美だ
ビュルルッ…
ッ！
ビクッ
……っ
っ……
ビクンッ…
ふ…っ
ふ…

!?
…お前が
あんまり
締めるからだ
ぎちっ
キュウウウ
ぎちぎちっ
!?
!
!
ビッ
次は声も
聞かせて
もらうか
ふぁっ…
おいっ…!
じゃあまた
締めてみろ
やめろ!
もう無理だ!
なんだ?
また空イキ
したいのか?
!?
おまっ
いいぜ
ちょっ…!
パチ

やめろ高杉！
高っ
あっ
ズン！
いやだっ
外してくれ
外して
やっぱりその声もたまらねぇなァ
なぁっ外して
外せよっ
あっ
あっ
ダメだ
そこは
そこ突くなっ…
やめ
やめろ
やめ
ビクンッ
ズブ
ズブ
ズブ
じゅぷっ
じゅぷ
あ
ビク

ドプッ!!
ギュウウウッ
ビュルルルルルッ
ビク
ビク
びくんっ
あ――ッ!
びくっ
びくっ

どういうことだよ高杉！

どうもこうもねェよ言った通りだ

俺ァ戦わねえ白夜叉なんざいらねえ

高杉…

殺したくないだと？そんなのは白夜叉でも何でもねえ

高杉

そんな白夜叉なんざ用なしだ

ぽろ…

ぽろ
ぽろ
ぽろ
……
高杉…
銀時
俺ァ今日ちっと出掛ける
お前はどうせ動けねーだろ
帰ってくるまでその格好で待ってろ
なに…これ…
ククッ
家畜には似合いだろ？
厠へ行く時は男衆を呼べ
じゃあな
夜には戻る
高杉は

戦えない俺には
用がない

あいつにとって
戦えない俺に
似合いなのは

これが

……

ジャラ…

いけねぇ
感傷に浸ってる
場合じゃないんだ

高杉

俺が
こんなことまで
してんのは
依頼のためだ

高杉

早く娘さんを
見つけねーと

高杉…

なぁ
高杉

俺の過去を
あいつの
過去だって

もう関係ない

好きだぜ

高杉

帰ったぜ

銀時

…フン
帰って来ねーで
よかったのによ

ぼす

口が
減らねェな

ホラ
土産だ

菓子…と
なんだこりゃ

あ?

ああ…
そりゃ夜兎に
渡すモンだ

ハァ?

それだけ
寄越せ

なんだよ
コレ

菓子かぁ

いいから
寄越しな

テメェ
今日はここで
大人しくしてた
だろうな

人に
こんなもん
付けといて
何言ってんだ

どこ行けっ
つーんだよ

ならいい

ドサ!

わっ

今日で最後だ

明日帰る

——ああ

帰っちまうのか…

…そうかい

せいせいするぜ

だから今夜ぐらいは優しくしてやるよ

チュ
——ん
チュッ
チュク
んっ
ん
チュ
ん
…口を合わせるなァ今日が初めてだな
昔と逆だ
クッ
クッ
…言うなよ昔のことなんて

さっさと帰っちまえ

——あっ

あ…

可愛らしい反応もできんじゃねェか

…おめーが普通に抱きゃあいつだって可愛いんだよ

俺は

違いねェな

クク…

ま昨日までは

テメェの無鉄砲な博愛主義にイラついてたからな

ん

？

なんの話…

やめろ

キスなんかすんな

優しく抱いたりすんな

ぬる…

……は

ズズッ…

っ……

気付いちまうじゃねえか

キュ

っ……

う……

あんな酷い抱き方をしたお前が

…時

昔のお前と同じだって

銀時

あ……

ガッ

ッッッ

キャァァァァ

何をなさいます高杉様！

キャアアアア

おい誰か人を…

派手にやりすぎたなァ主さんよ

なっ

何を

昨日やっと春雨と連絡がついてよォ

奴らえれェご立腹だったぜ

一体何の話…

お前何やってんだ！

銀時帰り支度しな

は？

この宿は麻薬売買の拠点だ

おい高杉！

遊女が運び屋にさせられてんだよ

売れなくなった奴からな

ハァ!?

運ぶ時は大量の薬をコンドームに詰めて女の股に入れる

中でゴムが破れりゃ

致死量の薬で女は終いだ

なん…

お前の探してる女はもうこの世にいねえ

そこのジジイが殺しちまったんだよ

薬を女の股ぐらで破裂させてな!

誰か!

誰か人を…

…用心棒全員斬っちまうなんて
あいつらテメェを輪姦(マワ)したろ
殺しても足りねぇぐらいだ
…お前全部知ってたんだな
薬とかよ

まァな

転生郷密売の尻尾を掴めねェで春雨がイライラしてたからな

ふぅん…

お陰で俺の仕事は済んじまったけど

…可哀相だな

フン 呑気なもんだ

次の運び屋はテメェだったってのによ

へ?

てめえはハナから運び屋要員であの見世に雇われたんだよ

くだらねえ依頼受けて死ににに行くなんざ

なんだオメーいい奴じゃん!

なんで振ったくせに買いに来たと思ったぜ

なに言ってんだ

俺を振ったのはテメエだろ

え そなの?

…あ だからお前買い続けたのか?

……

…別に俺ァ春雨に貸しを作りに行っただけだ

は？
まァ昔のことだ
野暮は言わねェけどな
ちょっ
ちょ
待てよ
あん？
オメー俺のこと振ったじゃん！
戦えねー白夜叉は用ナシだって
銀さんに言ったじゃん！
ああ言ったな
ホラ！
けど俺ァ
戦わねェなら「白夜叉」はいらないっつったんだ
銀時がいらねェとは一言も言ってねェが
え――？
…なんだお前分かってなかったのか？
わかんねェよ！

…俺ァ戦から逃げた手前が許せなかった

そりゃ今でも変わんねえが

けどそれと手前が大切だってのはまた別の話だ

お前…

わかんねーよ そんなん

ま

昔のことだ

俺もお前もガキだったしな

…なぁ
お前
あん？
じ
時間
あんなら
ウチで
メシでも
食ってけば
…朝メシ
まだだろ
…そうだな
馳走になるか
…おい

来月あたり
お前の家に
会いに行ってやるよ

は？

今度はちゃんと
昔みてーに
可愛がってやる

十年以上
俺の心ン中
縛ってたなァ
テメエだからな

責任取って
もらうぜ

なっ……

鍵かけねェで
待ってな

来んな！

照れんじゃねェよ

照れてねえ！

…ウチに鍵なんがないけどね

何か言ったか

別に！

花の縛人
高杉晋助 × 坂田銀時